



SAP Ariba 

機能の概要

Supply Chain Collaboration の Planning Collaboration (計画コラボレーション) API

Franz Uhr, SAP Ariba

一般提供予定: 2019 年 8 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

新機能: Supply Chain Collaboration の Planning Collaboration (計画コラボレーション)

API お客様の課題

現在は、バイヤーのお客様が Ariba Network から予測、サプライヤによる予測の確定、サプライヤ在庫、または計画に関するデータを抽出し、計画、監視、および実行の各アプリケーションに入力する方法が提供されておりません。

ソリューション領域

SAP Ariba APIs
SAP Ariba Developer Portal
SAP Ariba Supply Chain Collaboration

SAP Ariba での課題に対応

この API により、予測、サプライヤによる確定、在庫、および計画の各データを Ariba Network から直接取得し、計画プロセスに関する情報をバイヤーが簡単に利用できるようにすることができます。

API 経由で利用できる情報は以下のとおりです。

- サプライヤの在庫データ (外部製造モニタまたは予測コラボレーションを通じてサプライヤが提供)
- サプライヤ管理在庫データ
- 予測および確定データ

実装に関する情報

この機能を有効にするには、貴社のサポート問い合わせ担当者 (DSC) に SAP Ariba Developer Portal のオンボーディング実行を求めるサービスリクエストの提出を依頼してください。この API 自体の機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、お客様による設定が必要です。

実装の難易度
関連する地域

ロータッチ/容易
グローバル

実現される主なメリット

Ariba Network 経由でサプライヤから提供されるデータは、お客様にとって非常に大きな価値があります。計画、監視、および実行の各アプリケーションは、SAP Ariba がすでに標準統合している SAP ソリューションとは異なる場合もあるため、こうしたデータをこれらのアプリケーションに入力することにより大きなメリットが生まれます。

Open API によって、既存および新規の革新的なアプリケーションを拡張および構築するためのデータアクセスメカニズムが標準化されます。

前提条件および制限事項

この API では、SAP Ariba Supply Chain Collaboration と各コラボレーションコンポーネントで貴社がバイヤーとして有効になっている場合に、取引関係があるサプライヤに関するデータのみ取得することができます。

予測 API エンドポイントには予測コラボレーションコンポーネントが必要で、予測コラボレーションの通常設定の取引ルールが有効になっている必要があります。

サプライヤ在庫およびサプライヤ管理在庫 API エンドポイントには在庫コラボレーションコンポーネントが必要となります。

SAP Ariba Developer Portal でオンボーディングプロセスを完了しておきます。予想される OAuth 認証にアプリケーションが準拠していることを確認します。SAP Ariba APIs 管理によって承認されているアプリケーションのみが OAuth 認証を実行することができます。

機能の概要

新機能: Supply Chain Collaboration の Planning Collaboration (計画コラボレーション)

API 使用例

Supplier-managed inventory data export

(サプライヤ管理在庫データエクスポート)

API を使用して Ariba Network から計画情報
報を取得する

Supplier inventory data export (サプライヤ

在庫データエクスポート) API を使用してサ

プライヤ在庫データレベルを取得する

Forecast (予測) API を使用してサプライ

ヤ予測および確定データを取得する

貴社は、一定のレベルで在庫を管理したいと考えています。貴社のサプライヤは、手持ち在庫を一定期間内で維持するために商品を出荷することに合意しています。貴社はこの API を使用して、サプライヤが一定期間内に出荷を計画している商品の数量を含む、サプライヤ管理在庫データを取得することができます。このデータには、サプライヤの確定データ、サプライヤによる計画補充、および特定の場所における見込み在庫が含まれている可能性があります。このデータは、キー数値の時系列として表されます。貴社は API にパラメータを渡し、必要なデータをフィルタリングします。

サプライヤが、ある倉庫で貴社向けの特定の商品を管理しています。貴社はサプライヤ在庫 API エンドポイントを使用して、手持ち在庫合計と、その倉庫にある在庫の種類の内訳を Ariba Network から取得することができます。貴社は API にパラメータを渡し、必要なデータをフィルタリングします。

貴社は、特定の品目を急いで注文しなければならないことがあります。この API を使用すると、必要な期間に目的の品目を確定できるサプライヤを把握することができます。これにより、必要な期日までに必要な数量の品目をサプライヤが個別で、または一括して提供できるのかどうかを特定することができます。

前提条件

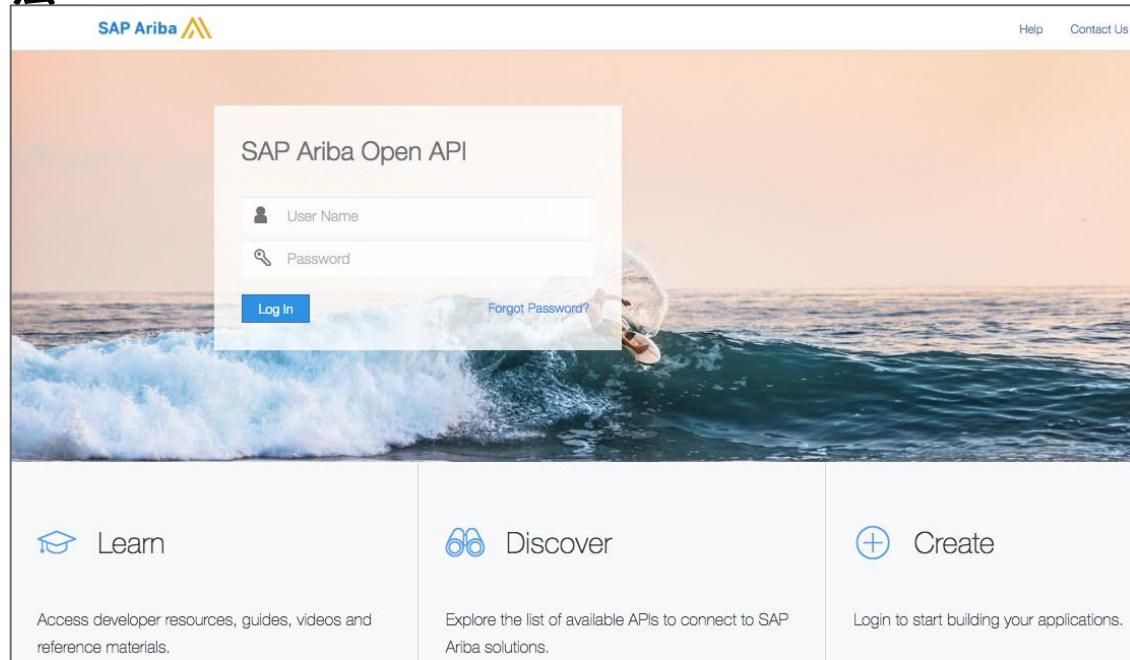
Forecast (予測) API が機能するには、予測コラボレーションの以下の通常設定の取引ルールを有効化する必要があります。

- サプライヤに予測データの表示を許可する
- サプライヤに予測データの確定を許可する

機能の概要

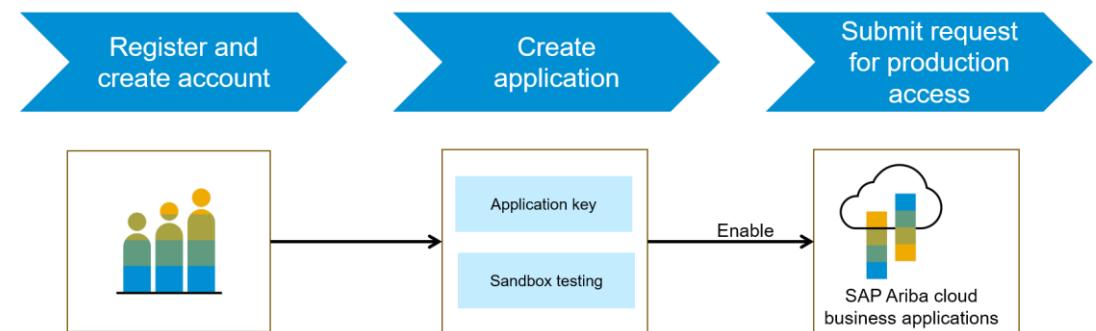
新機能: Supply Chain Collaboration の Planning Collaboration (計画コラボレーション)

API
Supply Chain Collaboration の Planning Collaboration (計画コラボレーション) API を利用するアプリケーションを開発する方
法



<https://developer.ariba.com/api/> に移動します。

[Learn] セクションを確認し、アプリケーションの開発方法に関する詳細を理解します。一般的に、アプリケーションを開発するプロセスには以下のステップが含まれます。



1. Developer Portal で登録を行ったら、[Ariba Network] の下で利用可能な API を調べ、「Planning collaboration API for Supply Chain Collaboration」を検索すると、この API に関する詳細な説明を入手できます。
2. 新しいアプリケーションを作成し、アプリケーションを有効化してアプリケーションキーを取得します。
3. <http://connect.ariba.com> でサービスリクエストを提出して、作成したアプリケーションの「本稼動アクセス」を申請する必要があります。申請が承認されると、アプリケーションの OAuth クライアント ID が生成されます。
4. バイヤー管理者として、OAuth クライアント ID をプロファイルに追加します（次のページを参照）。

機能の概要

新機能: Supply Chain Collaboration の Planning Collaboration (計画コラボレーション)

API バイヤー管理者のプロファイル設定

この機能により、[<ユーザー名>] → [プロファイルの管理] ページに、API クライアント ID の設定ページ

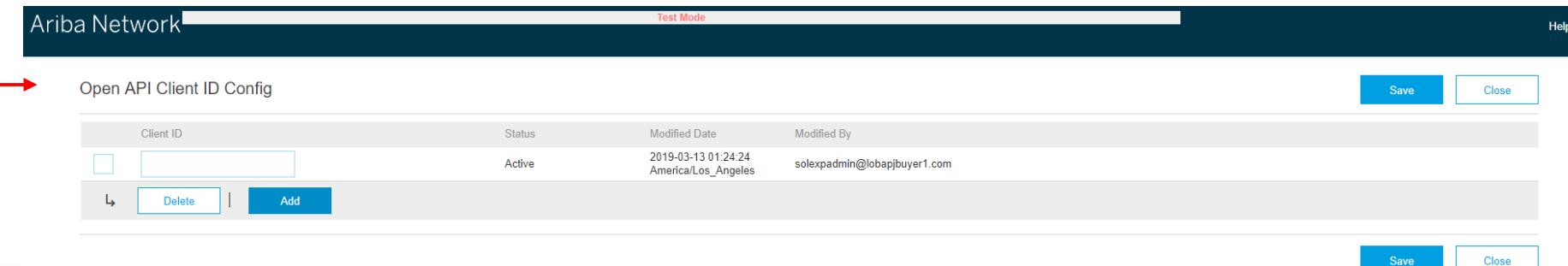


Configuration

Review and update company settings such as contact information, order routing preferences, system notifications, and more.

- Personal Information
- Locale Settings
- Business Application IDs and End Points (cXML and OData Setup)
- Cloud Integration Gateway Setup
- Company Profile
- Company Business Information
- Upload Company Logo
- Extended Profile Settings and Information
- Additional Information
- Notifications
- Default Transaction Rules
- Currency Precision and Rounding
- Country-based Invoice Rules
- Supplier Self-Nomination
- Payment Profile
- Ariba Discount Management
- Catalog Validation Preferences
- Document Number Preferences
- Payment Integration Toolkit
- Quote Automation
- Tax Adjustment Configuration
- Early Payment Limits
- Manage Business Units
- Supply Chain Finance Enablement
- Open API Client ID Config

バイヤーがこのページに OAuth クライアント ID を追加すると、そのクライアント ID を指定する API は、該当する ID に関連付けられているデータを Ariba Network から取得することができます。



The dialog box is titled 'Open API Client ID Config'. It contains a table with the following data:

Client ID	Status	Modified Date	Modified By
1234567890	Active	2019-03-13 01:24:24	America/Los_Angeles

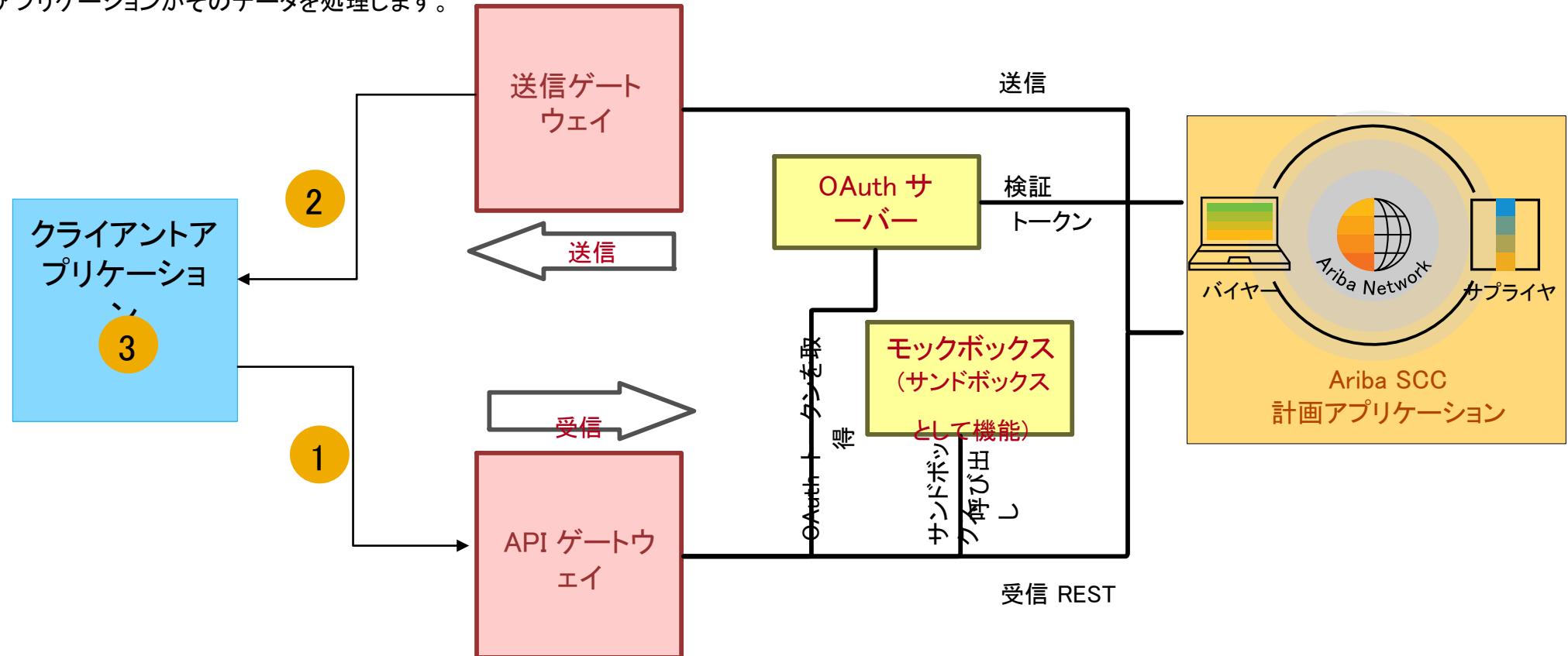
Buttons at the bottom include 'Delete' (disabled), 'Add', 'Save', and 'Close'.

機能の概要

新機能: Supply Chain Collaboration の Planning Collaboration (計画コラボレーション)

API Supply Chain Collaboration の Planning Collaboration (計画コラボレーション) API のワークフロー

1. クライアントアプリケーションが、定義されたパラメータセットを使用して Ariba Network に対してクエリを実行します。
2. API はクエリに応答し、一致するすべてのレコードを含む JSON データセットを書式設定済みの構造で返します。
3. データを受け取ったアプリケーションがそのデータを処理します。



機能の概要

新機能: Supply Chain Collaboration の Planning Collaboration (計画コラボレーション)

API サンプルコード

API 要求は、要求 URL で複数の パラメータを渡すことができます。利用可能なパラメータと構文については、API に関するドキュメントを参照してください。

以下のサンプルコードでは、`[[runtime_url]]`を、SAP Ariba Developer Portal のこの API の Discovery ページにある Environment Details テーブルに記載されている、目的の実行時 URL に置き換えてください。すべてのサプライヤ在庫レコードが取得され、1 ページにつき 15 件のレコードが表示されます。

```
GET {{runtime_url}}/supplierInventory?rsqlfilter=VendorId==1234;plantId==North10B&limit=15
```

2.以下の例では、バイヤーの品番が ABCD345 の品目に関する見込み在庫需要および計画出荷についてのベンダ ID 9876 のレコードすべてが取得されます。取得されるデータは、2019 年 3 月 4 日の取引開始日から 2019 年 3 月 15 日の取引終了日までの期間のデータです。データはお届け日数を基準として並べ替えられ、1 ページにつき 10 件のレコードが表示されます。

```
GET{{runtime_url}}/supplierManagedInventory?rsqlfilter=buyerPartNumber==ABCD345;VendorId==9876;startDate==2019-03-04T0800;endDate==2019-03-15T1700;sortCol==LEADTIME&limit=10
```

3.以下の例では、2019 年 6 月 1 日から 2019 年 6 月 15 日までのバイヤーの品番 XYZ.5678 のすべてのサプライヤ予測レコードが取得され、1 ページにつき 20 件のレコードが表示されます。

```
GET {{runtime_url}}/forecast?rsqlfilter=buyerPartNumber==XYZ.5678;startDate==2019-06-01T0800&endDate==2019-06-15T1700&limit=20
```